

マのホーに

恋する旅人たち

さしだせい

試し読み



きゃたりう出版

# マンホールに恋する旅人たち



01	愛知県知多郡南知多町日間賀島	010
02	沖縄県うるま市	012
03	滋賀県甲賀市土山町	014
04	佐賀県三養基郡基山町	016
05	広島県広島市	018
06	京都府宇治市	020
07	東京都台東区	022
08	福井県福井市	024
09	岐阜県恵那市(大井町)	026
10	神奈川県横浜市(保土ヶ谷町)	028
11	静岡県静岡市(旧庵原郡由比町)	030
12	石川県輪島市	032
13	福岡県久留米市	034
14	三重県多気郡明和町	036
15	愛知県豊川市	038
16	埼玉県川越市	040
17	大阪府大阪市	042
18	山梨県富士吉田市	044
19	沖縄県国頭郡恩納村	046
20	岡山県倉敷市	048
21	愛媛県今治市	050
22	島根県鹿足郡津和野町	052
23	愛知県稲沢市	054
24	静岡県浜松市中区肴町	056
25	香川県高松市	058
26	佐賀県鳥栖市	060
27	福岡県糟屋郡粕屋町	062
28	石川県白山氏(旧松任市)	064
29	岐阜県岐阜市	066
30	滋賀県高島市(旧高島郡新旭町)	068
31	三重県伊勢市(旧度会郡二見町)	070
32	沖縄県中頭郡嘉手納町	072
33	長野県下伊那郡根羽村	074
34	岡山県岡山市	076
35	東京都中央区	078
36	京都府城陽市	080
37	愛知県丹羽郡扶桑町	082
38	静岡県掛川市	084
39	山梨県大月市	086
40	石川県羽咋市	088
41	岐阜県中津川市(旧長野県木曾郡山口村)	090
42	福岡県筑紫野市	092
43	埼玉県所沢市	094
44	滋賀県蒲生郡竜王町	096
45	神奈川県横浜市	098
46	三重県桑名市	100
47	沖縄県名護市	102
48	広島県三次市	104
49	富山県氷見市	106
50	愛知県知多市	108

## 01. 愛知県知多郡南知多町日間賀島



---

町の木	ウバメガシ
町の花	スイセン
面積	0.77km <sup>2</sup>
海岸線長	30.2m

---

愛知県にある、渥美半島と知多半島に挟まれた三河湾。そこに浮かぶ小さな島、日間賀島。島の周囲でとれるトラフグとタコが島の名物になっています。

愛知県にある有人島の中では面積が最少ですが、年間に訪れる観光客数はもっとも多いです。

# はじまりの島

“海の日には海に行く”

そんな、勝手な自分ルールに従い、訪れた島。  
美しい空と海、島のあちこちにいる猫たちの写真を  
撮りながら歩いていた。

海水浴を楽しむ家族連れが多く、子供たちが何度も  
私の前を横ぎってゆく。

「たこ〜」

「ふぐ〜」

そう叫びながら走り回っている一人の男の子。

島内のあちこちにある、オブジェなどを見て言っ  
てるのかと思えば、男の子が指差している先は地面。  
足元に目をやると、なんともひょうきんな顔をした  
タコが描かれているマンホールがあった。  
フグもあるのかと、下を見ながら少し歩いてみると  
これまたひょうきんな顔をしたフグが扇子を持って  
いるマンホールが。

この日から、下を向いて歩く旅人となった。  
はじまりの島、日間賀島。

Himakajima  
Chitagun Minamichitacho, Aichi



## 02. 沖縄県うるま市（旧石川市）



市の木  
市の花  
市の鳥

リュウキュウコクタン  
サンタンカ  
チャー

南北に長く伸びる沖縄本島のほぼ中間、最もくびれた部分にあります。

闘牛が盛んな地域で、古くから大衆娯楽として多くの人々に親しまれてきました。

沖縄の“闘牛”は、スペインの闘牛とは違い、牛同士が角を突き合わせ、どちらかが戦意を喪失し遂げるまで戦うものです。

# うまれた土地

海の向こうにある故郷へ。

ただの旅人から、下を向いて歩く旅人となった私は  
さっそく実家の周りを歩いてみた。  
昔と変わらない懐かしい道での、新しい発見。

絵柄は予想していた通り、鬪牛だった。  
そしてサンタンカの花、沖縄の楽器”三線”の竿にも  
使われているリュウキュウコクタン。  
上部に描かれている図柄は、子供の頃に着たことが  
ある着物の柄のような気がする。  
母や叔母に聞いてみると、伊波メンサーではないか  
とのこと。

伝統的な織物が数多く残されている沖縄。  
その中で、最も古い時代の技法を伝えているとされ  
ているメンサー（ミンサー）織り。  
五つと四つの市松模様には

「いつ（五つ）の世（四）までも一緒に」

というロマンチックな意味が込められているそう。

愛する人のために織るメンサー織り。  
祖母も、織ったことがあるのだろうか。

Ishikawa Uruma, Okinawa



### 03. 滋賀県甲賀市土山町（旧甲賀郡土山町）



---

町の木  
町の花  
町の鳥

スギ  
チャ  
キジ

---

三重県と滋賀県の県境に横たわる鈴鹿山脈。  
東海道が通る鈴鹿峠を越える馬子たちが歌っていたと  
いわれる“鈴鹿馬子唄”

「坂は照る照る 鈴鹿は曇る あいの土山雨が降る」  
と歌われる土山宿は、伊勢国から近江国へ入った最初の  
の宿場町。東海道五十三次では49番目にあたります。

# あいの土山

東海道五十三次。

各地のマンホールを撮って歩いているうちに、この浮世絵がモチーフになった、いくつかのマンホールと出会った。

この土山にもあるかもしれないと思い、訪れたのが道の駅「あいの土山」

歴史街道を歩いて、見つけたマンホールに描かれていたのは、町のシンボルである杉と茶の花、そしてキジだった。

日暮れ近く、青から薄紫色に移りゆく空を見上げた。さすがにキジは飛んでいなかったが、澄んだ空気を吸い込み、冷たい土山茶を飲んで、ほっと一息。

道の駅の中にある売店にて。  
標高の高い山間ならではの季節の野菜たちと一緒に、

「猫がよろこぶマタタビの木」  
「猫がよろこぶマタタビの実」

が並べられていた。

猫を飼っているわけではないけど、買ってしまいそうになった、猫好きの旅人がここに。

Tsuchiyama-cho Koka, Shiga



## 04. 佐賀県三養基郡基山町



---

町の木  
町の花

ツツジ  
ツツジ

---

佐賀県の東端にある町です。  
古くから古代官道や長崎街道などの主要道路が町域を通り、現在でも国道3号線、九州自動車道が縦走しているなど、交通の要となる地点として発展しています。

弥生・古墳時代の遺跡からは、九州をはじめ、各地域との交流を示す遺物が多く出土されています。

# 子供たちの遊び

ツツジと山と……子供？

お昼にラーメンを食べに行こうと、福岡から久留米へ向かう途中、九州自動車道を降りて立ち寄った町。

各市町村区のシンボルである花や木などが描かれたマンホールが多い中、何かのキャラクターでもないただの子供が遊ぶ風景が描かれているマンホールがそこにあった。

調べてみると、これは

“基山で草スキーをする子供たち”

だそうだ。

なるほど、よく見れば後ろのほうに大きな山。子供たちもソリらしきものに乗っているではないか。

基山は山全体が草原になっていて、そのゆるやかなスロープで草スキーを楽しむ家族連れでにぎわっているのだとか。

子供の頃、公園にあるちょっとした坂を、段ボールのソリで滑って遊んでいたことを思い出した。当時の私がここに来たら、長い坂に嬉々として滑っていたらう。

Miyakigun Kiyamacho, Saga



最後に

---

マンホールに恋する旅人たちを読んでいただき、ありがとうございます。

この本がきっかけでマンホールカバーに興味を持ってくれる方が増えたらいいなと思っています。

完全版はAmazonにて販売しております。

[マンホールに恋する旅人たちをAmazonで見る](#)

手に取っていただけると嬉しいです。

それではまた。



マンホールに恋する旅人たち 試し読み版

<http://p.booklog.jp/book/90160>

著者：さしだせいか

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/rakugakitei/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/90160>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/90160>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ